

令和4年11月25日(金)

保護者様

和光市立下新倉小学校
校長 藤原 啓

令和4年度の全国及び埼玉県「学力・学習状況調査」の結果について

晩秋の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本年度4、5月に実施した「埼玉県学力・学習状況調査」及び「全国学力・学習状況調査」の本校児童の結果について分析を行い、学力向上のための取組をまとめましたので、以下の通りお知らせいたします。家庭学習での目標設定などにご活用ください。なお、個人結果は、個人面談の時に直接お渡しいたします。

記

1 調査の目的・内容

(1) 埼玉県学力・学習状況調査〔実施日：5月11日(水) 対象学年：第4・5・6学年〕

【目的】「学習した内容がしっかりと身に付いているか」という視点とともに、「学力がどれだけ伸びているのか」という視点を加えて、子供たち一人一人の学びや成長の姿を明らかにするとともに、子供たちの学力の伸びを経年の調査結果から把握する。

【内容】国語、算数、生活習慣等についての質問

(2) 全国学力・学習状況調査〔実施日：4月19日(火) 対象学年：第6学年〕

【目的】文部科学省が全国の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図ると共に、学校での教育指導の充実や学習状況の改善策に役立てる。

【内容】・身に付けておかなければ後の学年の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
・知識や技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立てて実践し、評価・改善する力に関わる内容等
・生活習慣等についての質問

2 調査結果（それぞれの調査結果を踏まえたもの）

【よい点】○国語では漢字の知識・物語文の読み取り・発表の順序構成で良好な結果が出ています。
○算数では全体的に学力の伸びがでており、特に $+$ ・ \times ・ \div の計算、変化の関係で良好な結果が出ています。
○「将来の夢や目標を持っている」「授業中の学習を頑張っている。」と答える児童の割合が高くなっています。

【課題】●国語では文章の構造理解と、指定条件での作文や記述式の問題等書く力をさらに身につける必要があります。
●算数では図形問題、既習内容を生かす問題、思考過程の文章による説明について記述で答える問題等をさらに身につけていく必要があります。
●「困難な課題に対する集中力、持続力がある。」と答える児童の割合が低くなっています。

3 取組

☆国語では、自分の意見や状況の説明を的確に行えるよう、発達段階に応じて、文章で表現することに慣れ、語彙量を増やす学習をし、言語環境の充実を図っていきます。
☆算数では、図形問題等具体物、半具体物を操作して理解を図らせたり、計算の順序や法則の理解、既習事項の確実な定着を目指して、振り返り学習や反復練習の時間を確保したりして、学年間のつながりを意識した指導を行っていきます。また、全学年でのティーム・ティーチング、放課後算数教室により、きめ細やかな指導を今後も継続させます。
☆施設の特徴を生かし、図書館分館との連携授業や、ICT機器による新しい授業形式にも積極的に取り組んでいきます。

学力の伸長や定着には、学校と家庭の連携が大切です。ご家庭でもぜひ「家庭学習のすすめ」（本校HP掲載）を参考に、お子さんが進んで学習できるよう励ましをお願いします。また、県のHPから「埼玉県学力・学習状況調査 復習シート」と検索し、「復習シート」を合わせてご活用ください。